

第一回 地域連携推進会議【会議】 議事録

日時：令和7年10月4日（土）10:00～11:00

場所：共同生活援助 ぼぬーる

参加者：入居者1名、入居者家族3名、民生委員1名、相談員1名、他事業所管理者1名、ぼぬーる管理者1名

1. 出席確認
2. 自己紹介
3. 開催経緯、本会議の機能について（ぼぬーる管理者より）
4. 本題

- ・ ぼぬーるが行う予定の地域貢献活動についての相談

ぼぬーるの駐車場前のゴミステーションのゴミをカラスが漁り、掃除が行き届いていない為、協力をお願いしたい。自治会の当番制でゴミステーションの掃除を行っており、ぼぬーるも当番に入れてもらえる様に自治会長に進言をお願いしています。散歩をしながらゴミ拾いを行う予定であったが、ぼぬーる周辺はシルバーの尽力によりあまりゴミが落ちていない状況。

- ・ 地域で大切にしている事、困りごと、地域行事等の共有

大きく困りごとは特にはない。10月のお祭り、だんじりの練り歩きがあり、ぼぬーるの入居者にも是非参加して欲しいと考えている。

- ・ 伊丹市の福祉資源の案内や（事業所、地域、行政の行事やサービス等）他地域での利用者と地域の関わりについての現状等

相談員（アイ愛センター）：どなたでも利用できる施設となっており、プールの開放も行っている。夏、冬に大きなイベントを行っており、冬のフェスタイン伊丹12/13（ステージイベント中心）昼（10、11時位）～開催予定。広報はまだできていない。民生委員中心に開催している愛のバザーも近々アイ愛センター3Fで行う予定となっている。

管理者（ジョイフル）：アイ愛センターで行う、フェスタイン伊丹のステージで利用者とチャンゴの演奏を行う予定。その他ダンスイベントにも多数利用者様の出演助力をされている。

- ・ ご家族様の想い、希望等の共有

お祭り等のイベントが大好きな息子なので、どんどん参加して行ってほしい。イベント企画もしてもらっているのを助かっています。

地域の方がどんな方なのか、入居者の事をどう思っているのかを実際に聞けて良かった。息子さんが小学校時代の頃、事件をきっかけにゴミ拾いを通じて開かれた学校運営になる様、尽力された事がある。安全で快活な運営の為に開かれたグループホームを目指しているので感謝している。地域のイベントを通じて入居者様の顔やスタッフの顔を色々な人に覚えて行って欲しい。

入居当初は生活できるか心配であった。一般学級に息子さんを通わせる事が大変であった。障害の枠に括られると、交流や活動の制限がかかる事がどうしても納得できなく尽力された。ぼぬーるは障害者の枠で括らず、様々な人と関わりながら、地域で息子が活躍できるような意識も持って運営されている事が非常にありがたいと感じている。

施設の運営だけで終わる従業員がほとんどの中（支援だけでも大変なのでそれでも仕方が無いと思っている）息子達が活躍できる機会や場を考えて頂いている事に感謝している。

- ・ ご入居者様の意向、意思の確認、共有

行事の参加はどんどんしていきたい。地域の掃除も手伝います。

- ・ 質疑応答、その他情報共有等

入居者ご家族が行っている音楽活動を民生委員が開催している老人サロンで演奏する話があがる等、ホーム外でも輪が広がりました。

5. 来年度に向けて（ぼぬーる管理者より）

今年度はニーズや困りごと、情報の収集を中心に会議を進めました。本会議での情報や繋がりを基に地域貢献活動を通じて入居者に活躍して頂く予定です。開かれたグループホーム、地域交流のニーズの高さ等、改めて構成員の意見から認識する事ができ、運営に必要な要素と感じました。構成員より、またこの会議があれば是非参加したいとの声もあり、様々な人を巻き込んだ地域活動を前向きに取り組みたいという意思を感じ、ぼぬーるの入居者が良い風土を持った地域に住んでいると管理者として嬉しくも思

いました。